

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月13日
【四半期会計期間】	第90期第3四半期（自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日）
【会社名】	三井製糖株式会社
【英訳名】	Mitsui Sugar Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 飯田 雅明
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋箱崎町36番2号
【電話番号】	(03)3663-3111
【事務連絡者氏名】	経本部経統括部長 馬鳥 秀彰
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋箱崎町36番2号
【電話番号】	(03)3663-3111
【事務連絡者氏名】	経本部経統括部長 馬鳥 秀彰
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第89期 第3四半期連結 累計期間	第90期 第3四半期連結 累計期間	第89期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 4月1日 至平成25年 12月31日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(百万円)	74,105	73,325	96,213
経常利益(百万円)	4,900	7,207	6,181
四半期(当期)純利益(百万円)	3,688	4,439	4,451
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	3,798	5,156	5,031
純資産額(百万円)	59,251	64,668	60,483
総資産額(百万円)	93,584	99,994	93,294
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	27.66	33.29	33.39
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	58.93	60.43	60.40

回次	第89期 第3四半期連結 会計期間	第90期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日	自平成25年 10月1日 至平成25年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	16.46	14.58

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、新たに締結した経営上の重要な契約等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレからの脱却を目指す各種政策（アベノミクス）により、為替相場の是正や株式市場が回復し、企業の生産活動や個人消費へ波及していくなど景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、個人所得の本格的な回復は遅れており、個人消費の面では依然として節約志向も続いております。

このような状況の中、当社グループは期初に掲げた連結経常利益の史上最高益を目指すべく、第4次中期経営計画「Mitsui Sugar Revolution 2013（2012年4月～2014年3月）」の達成に向けて邁進しました結果、当第3四半期連結累計期間の業績及びセグメントの概況は以下のとおりとなりました。

#### （砂糖事業）

砂糖事業につきましては、前期10月に実施致しました岡山工場の神戸工場への生産集約を中心としたコストダウンを図り、製造固定費や販売直接費の削減を実現しましたが、製造変動費については、円安などにより引き続きエネルギーコストの上昇などの影響を余儀なくされました。

海外粗糖相場につきましては、期の前半は比較的小幅レンジで推移し、その後世界最大の生産・輸出国ブラジルにおける長雨や積出し港での原料糖倉庫の火災による供給不安などから、10月半ばには20セントを超えて上昇する局面もありましたが、その後は同国での順調な収穫作業が進んだことから軟調に推移しました。

販売面では、11月に海外原料の高騰やエネルギーコストの上昇により出荷価格を引き上げましたが、前年との比較においては国内販売価格水準が相対的に下落したことや、第1四半期での天候不順、量販店での家庭用特売の減少などから販売量も伸び悩み、売上高は前年同期を下回る結果となりました。

一方、連結子会社につきましては、販売量が増加するなど順調に推移しました。

以上の結果、売上高は65,109百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は3,497百万円（前年同期比41.3%増）となりました。

#### 期中の砂糖市況

国内市中相場（日本経済新聞掲載、東京上白大袋 1kg当たり）

始値182円～183円 高値185円～186円 安値182円～183円 終値185円～186円

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり）

始値17.70セント 高値20.16セント 安値15.86セント 終値16.47セント

#### （食品素材事業）

食品素材事業につきましては、パラチノース事業の製造コスト負担増加など減益要因もありましたが、ガーデニアン色素やカカオ色素など色素事業が堅調に推移し、また、前期7月に連結子会社株式会社タイショーテクノスが田辺三菱製薬株式会社より食品事業の一部を譲り受けたことや連結子会社北海道糖業株式会社のバイオ事業の受注増加が貢献したことから、売上高は7,372百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は354百万円（前年同期比9.1%増）となりました。

#### （不動産事業）

引き続き社有不動産の効率的活用に努めましたが、前期において賃貸物件の一部を売却したことを主因として売上高、営業利益ともに前年同期を下回った結果、売上高は843百万円（前年同期比10.6%減）、営業利益は442百万円（前年同期比16.5%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は73,325百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は4,294百万円（同29.0%増）となりました。

営業外損益においては、受取ロイヤリティー2,873百万円を計上したことなどから経常利益は7,207百万円（前年同期比47.1%増）、四半期純利益は4,439百万円（前年同期比20.4%増）となりました。

(2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3)研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は493百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	300,000,000
計	300,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	141,667,400	141,667,400	東京証券取引所 市場第一部	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は1,000株であります。
計	141,667,400	141,667,400	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減額 (百万円)	資本準備金残高 (百万円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	141,667,400	-	7,083	-	1,177

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 8,522,000	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式（その他）	普通株式 132,409,000	132,409	同上
単元未満株式	普通株式 736,400	-	同上
発行済株式総数	141,667,400	-	-
総株主の議決権	-	132,409	-

（注）「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株（議決権の数1個）含まれております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
三井製糖株式会社	東京都中央区日本橋箱崎町36-2	8,122,000	-	8,122,000	5.73
南西糖業株式会社	東京都千代田区岩本町三丁目2-9	400,000	-	400,000	0.28
計	-	8,522,000	-	8,522,000	6.02

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,648	10,395
受取手形及び売掛金	6,380	7,225
商品及び製品	15,440	13,822
仕掛品	1,764	1,618
原材料及び貯蔵品	4,526	7,824
繰延税金資産	601	402
その他	1,057	1,157
流動資産合計	37,420	42,445
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	32,917	32,435
減価償却累計額	21,703	21,548
建物及び構築物(純額)	11,213	10,887
機械装置及び運搬具	74,052	71,155
減価償却累計額	60,524	58,257
機械装置及び運搬具(純額)	13,527	12,897
工具、器具及び備品	2,259	2,253
減価償却累計額	1,874	1,897
工具、器具及び備品(純額)	384	356
土地	18,045	18,027
リース資産	35	74
減価償却累計額	6	11
リース資産(純額)	29	62
建設仮勘定	87	1,941
有形固定資産合計	43,287	44,171
無形固定資産		
無形固定資産合計	780	724
投資その他の資産		
投資有価証券	9,979	10,871
長期貸付金	54	47
繰延税金資産	925	834
その他	868	920
貸倒引当金	22	22
投資その他の資産合計	11,805	12,652
固定資産合計	55,874	57,548
資産合計	93,294	99,994

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,956	9,061
短期借入金	8,300	8,900
1年内返済予定の長期借入金	2,059	1,799
リース債務	4	9
未払費用	2,839	2,114
未払法人税等	1,206	1,325
未払消費税等	133	422
役員賞与引当金	57	40
資産除去債務	-	1
その他	1,210	1,930
流動負債合計	21,767	25,605
固定負債		
長期借入金	4,503	3,224
リース債務	24	54
繰延税金負債	1,062	1,268
退職給付引当金	3,069	2,994
役員退職慰労引当金	121	138
資産除去債務	294	283
長期預り保証金	809	733
その他	1,158	1,021
固定負債合計	11,043	9,720
負債合計	32,811	35,326
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,255	1,255
利益剰余金	51,205	54,710
自己株式	2,916	2,918
株主資本合計	56,627	60,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	282	413
繰延ヘッジ損益	5	10
為替換算調整勘定	554	125
その他の包括利益累計額合計	277	298
少数株主持分	4,133	4,239
純資産合計	60,483	64,668
負債純資産合計	93,294	99,994

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	74,105	73,325
売上原価	59,046	57,235
売上総利益	15,058	16,090
販売費及び一般管理費		
配送費	3,251	3,273
役員賞与引当金繰入額	34	39
退職給付引当金繰入額	107	81
役員退職慰労引当金繰入額	23	23
その他	8,311	8,376
販売費及び一般管理費合計	11,728	11,795
営業利益	3,330	4,294
営業外収益		
受取利息	1	4
受取配当金	64	82
受取ロイヤリティ	1,366	2,873
持分法による投資利益	536	294
雑収入	190	164
営業外収益合計	2,159	3,419
営業外費用		
支払利息	117	97
固定資産除却損	117	122
設備撤去費	126	128
雑損失	229	160
営業外費用合計	589	507
経常利益	4,900	7,207
特別利益		
投資有価証券売却益	112	-
関係会社株式売却益	-	41
固定資産処分益	<sup>1</sup> 1,197	-
補助金収入	-	266
負ののれん発生益	2,134	-
特別利益合計	3,444	308
特別損失		
投資有価証券評価損	18	-
固定資産圧縮損	-	253
減損損失	<sup>2</sup> 267	-
段階取得に係る差損	2,121	-
支払補償費	105	-
その他	60	-
特別損失合計	2,571	253
税金等調整前四半期純利益	5,772	7,262
法人税、住民税及び事業税	1,429	2,278
法人税等調整額	610	421
法人税等合計	2,040	2,699

少数株主損益調整前四半期純利益	3,731	4,562
少数株主利益	43	122
四半期純利益	3,688	4,439

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,731	4,562
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26	113
繰延ヘッジ損益	9	25
持分法適用会社に対する持分相当額	83	453
その他の包括利益合計	66	593
四半期包括利益	3,798	5,156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,745	5,015
少数株主に係る四半期包括利益	53	140

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入等に対する連帯保証

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
クムパワピーシュガー(株)	8百万円	カセットボンシュガー(株)	24百万円
カセットボンシュガー(株)	69	(株)ホクイー	24
(株)ホクイー	21		
計	100	計	48

(四半期連結損益計算書関係)

1. 固定資産処分益

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

土地等の売却によるものであります。

2. 減損損失

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

減損損失を認識した資産グループの概要

場所	用途	種類
岡山工場 (岡山市南区)	パラチノース 生産設備	建物及び構築物、機械装置及び運搬具、工具器具及び備品
旧総合研究所 (神奈川県茅ヶ 崎市)	売却予定資産	建物及び構築物、土地

減損損失に至った経緯

岡山市南区に所在する岡山工場のパラチノース生産設備について、営業損益が悪化し、短期的な業績の回復が見込めないため、減損損失を認識しております。また、神奈川県茅ヶ崎市に所在する旧総合研究所について、売却の見込みが高まったため、減損損失を認識しております。

減損損失の内訳

建物及び構築物	52百万円
機械装置及び運搬具	40百万円
工具、器具及び備品	1百万円
土地	172百万円
計	267百万円

グルーピングの方法

固定資産を砂糖事業グループ、食品素材事業グループと不動産事業グループとに大区分し、さらに砂糖事業グループは工場別に区分しております。食品素材事業グループは主としてパラチノースグループ、色素グループ、寒天・ゲル化剤グループ、バイオグループに区分しております。不動産事業グループは賃貸物件毎に区分しております。なお、遊休資産及び売却予定資産につきましては、個々の物件毎に区分しております。

回収可能価額の算定方法

パラチノース生産設備につきましては、回収可能価額は正味売却価額によっておりますが、他への転用が困難なため0円と評価しております。

旧総合研究所の資産につきましては、回収可能価額は正味売却価額によっており、その価額は売却予定価額等に基づき算定しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	2,691百万円	2,508百万円
のれんの償却額	57	37

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	534	4.0	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金
平成24年10月31日 取締役会	普通株式	400	3.0	平成24年9月30日	平成24年12月4日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	534	4.0	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金
平成25年10月30日 取締役会	普通株式	400	3.0	平成25年9月30日	平成25年12月4日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	砂糖事業	食品素材事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	66,196	6,965	943	74,105	-	74,105
セグメント間の内部売上高又は振替高	46	-	41	88	88	-
計	66,243	6,965	985	74,193	88	74,105
セグメント利益	2,474	325	530	3,330	-	3,330

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	砂糖事業	食品素材事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	65,109	7,372	843	73,325	-	73,325
セグメント間の内部売上高又は振替高	29	-	40	69	69	-
計	65,138	7,372	883	73,395	69	73,325
セグメント利益	3,497	354	442	4,294	-	4,294

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 ( 自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日 )	当第 3 四半期連結累計期間 ( 自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日 )
1 株当たり四半期純利益金額	27円66銭	33円29銭
( 算定上の基礎 )		
四半期純利益金額 ( 百万円 )	3,688	4,439
普通株主に帰属しない金額 ( 百万円 )	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 ( 百万円 )	3,688	4,439
普通株式の期中平均株式数 ( 千株 )	133,351	133,346

( 注 ) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

2 【その他】

平成25年10月30日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額.....400百万円

(ロ) 1 株当たりの金額..... 3 円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年12月 4 日

( 注 ) 平成25年 9 月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月10日

三井製糖株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 陸田 雅彦 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 池田 徹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている三井製糖株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、三井製糖株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。